

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

| | | | | | |
|-----|-------------|----|------|--------|--------|
| 学校名 | 安芸太田町立加計小学校 | 校長 | 林 文麿 | 生徒指導主事 | 田尾 佐智恵 |
|-----|-------------|----|------|--------|--------|

取組事例名 『学級活動（１）話し合い活動の充実』

取組における育てたい資質・能力

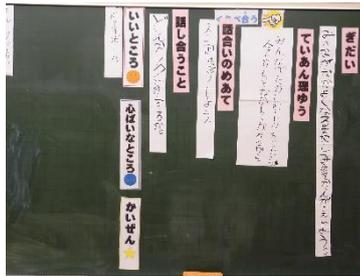
| 人間関係形成 | | 社会参画 | | 自己実現 | |
|--------|---|-------|---|-------|---|
| 伝え合う力 | 1 | 課題発見力 | 2 | 自己肯定感 | 3 |

取組のねらい

集団の一員としてよりよい生活を築こうとする自治的な話し合いをする中で、合意形成を図ったり、意思決定をしたりする力を育てる。

取組の具体的な内容

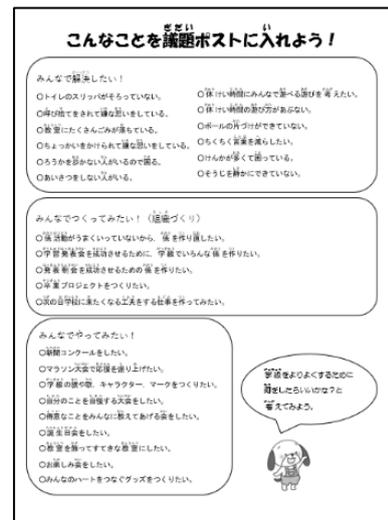
- 研究授業を通して
 - 2学年で「みんながなかよくなるおたのしみ会を考えよう」という議題での話し合い活動の研究授業を行った。
 - 話し合い活動に使うグッズを各学級分作成し、どの学級でもすぐ使えるようにした。



- 課題発見に向けて
 - 研究授業を通して、話し合いたい議題になっているか？という課題が出てきた。どんな議題で学級会を行えば、学級がよりよくなるか考える学習を行い、本当に話し合いたい議題を出せるようにしていった。
- 計画委員との事前準備
 - 計画委員と事前に打ち合わせを行い、丁寧に準備を進めていった。計画委員は事前に議題についてみんなに伝え、一人一人が自分の考えをもって話し合いに参加できるようにした。

取組の創意工夫 『形をそろえる』

- ・1学期に研究授業を行うことで、話し合い活動の基本的なスタイルを意識統一することができた。



- ・学年に応じて計画委員に任せるところや「話し合うこと」のレベルを変え、少しずつ話し合いの難易度を上げていった。

取組の成果と課題

- 児童アンケートによる伝え合う力についての項目の評価は、2学期始めが82%、3学期始めが86%であった。若干ではあるが、自分の意見を伝え合おうとする児童が増えている。
- それぞれの学年に応じた話し合い活動ができるようになり、合意形成を図りながら結論を出すことができるようになってきている。
- 回数を重ねるごとに、集団の一員としての自覚が高まりつつある。計画委員になって話し合いを進めることにも自信を持ち、計画委員になりたがる児童が増えている。
- 年間計画の中で（１）話し合い活動の時間が少なかったため、来年度は全学年17時間以上確保する。
- 時間内に結論が出せないことがあるので、時間配分も自分たちでしっかりできるようにしていきたい。